

シラバス詳細

タイトル「2026年度シラバス」、カテゴリ「経済経営学類」

科目情報

< 2/6件 >

科目名

中級日本語1-2(文法)

講義名

中級日本語1-2(文法)

クラス

担当教員

永島 恭子(非)

実務経験のある教員による講義

学年

1年、2年、3年、4年

キャンパス区分

金谷川キャンパス

開講学期

前期

開講時期

(前期)

曜日・時限

金 1

講義室

講義室未設定

科目種別

通常講義(学類)

ナンバリング

科目区分

要卒外(システム用)

単位区分

要卒外

単位数

1

準備事項

備考

特修プログラム

直接参照URL

https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=047540165684&formatCD=1

授業方法

講義、グループワーク、ICT機器の活用

講義情報

授業概要とねらい

文法項目、文法知識を増やすことを通して、日本語の理解と使用の能力を高める。具体的には日本語能力試験N3レベルの文法事項を学習する。しかし単なる文法項目、文法知識の詰め込みではなく、具体的な場面においてそれが実際に使用できるようになったかどうかを重視する。

To develop competence of usage and understanding of Japanese language by expanding grammatical items. In this class, lessons are focus on grammatical matters of level 3 on Japanese Language proficiency test. On the evaluation, usage of language is more important than the knowledge.

単位認定基準

- ・そこに書かれている出来事、気持ち、願いなどを理解できる。
- ・馴染み深く個人的にも関心があり、日常生活に関連したトピックであれば会話に入っていける。
- ・過去の経験や出来事、将来の夢や希望、抱負を表現するために、語句や句をつなぎ合わせることができる。
- ・意見や計画の理由や説明を簡単ではあるが表明することができる。
- ・ can understand the description of events, feelings and wishes .
- ・ can enter unprepared into conversation on topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (e.g. family, hobbies, work, travel and current events)
- ・ can connect phrases in a simple way in order to describe experiences and events, their dreams, hopes and ambitions.
- ・ can briefly give reasons and explanations for opinions and plans.

授業計画

- 1) オリエンテーション、テキスト第7課（1）店員が説明する丁寧な表現を理解し、受け答えができる
- 2) テキスト第7課（2）友だちと最近の変化について話したり、強くアドバイスしたりすることができる
- 3) テキスト第8課（1）初対面の人に敬意を示す基本的な表現を使ってあいさつができる
- 4) テキスト第8課（2）初対面の人に敬意を示す表現を使って受け答えができる
- 5) テキスト第9課（1）身近な話題について、個人的な考え方や感じ方を表現することができる
- 6) テキスト第9課（2）特にこだわりがあるものなどについて、自分の気持ちを表現することができる
- 7) テキスト第10課（1）相手の意見に対して、強く反論することができる
- 8) 中間まとめ
- 9) テキスト第10課（2）将来の展望について、自分の意見を強く主張することができる
- 10) テキスト第10課（3）身近な人について、やや批判的な評価を言うことができる
- 11) テキスト第11課（1）困った時の状況を具体的に説明したり表現したりすることができる
- 12) テキスト第11課（2）困った時の心情を具体的に説明したり表現したりすることができる
- 13) テキスト第11課（3）困った時の状況や心情を聞いて、共感する気持ちを表現することができる
- 14) 復習
- 15) 全体のまとめ

* 以上は予定であり変わる可能性がある。

- 1) Orientation, Textbook Chapter7(1), Grammar Point62~67
- 2) Textbook Chapter7(2), Grammar Point68~71
- 3) Textbook Chapter8(1), Grammar Point72~75
- 4) Textbook Chapter8(1), Grammar Point76~78
- 5) Textbook Chapter9(1), Grammar Point79~83
- 6) Textbook Chapter9(2), Grammar Point84~86
- 7) Textbook Chapter10(1), Grammar Point87~90
- 8) Midterm exam
- 9) Textbook Chapter10(1), Grammar Point91~93
- 10) Textbook Chapter10(2), Grammar Point94~98
- 11) Textbook Chapter11(1), Grammar Point99~102
- 12) Textbook Chapter11(2), Grammar Point103~106
- 13) Textbook Chapter11(3), Grammar Point107~113
- 14) Review
- 15) Final exam

* These schedules are still tentative.

授業計画（週形式）

教材・教科書

『TRY!日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語』アスク出版

"Try! Nihongo noryokushikenn N3 bunnpoo karanobasu Nihongo" ASK publishing

参考図書

参考URL

授業外の学修、及び必要な学修時間

- ・宿題による予習、復習をしていくこと。
- ・単位制に基づき、少なくとも15時間の授業外学修時間を必要とする。

Students need to spend at least 15 hours on preparation and review through homework.

成績評価の方法

小テスト・提出課題（30%）、中間試験（20%）、期末試験（50%）で評価する。出席率70%以上でないと期末試験は受けられない。

Quizzes and weekly assignments (30%), Midterm exam (20%), Final exam (50%)

Students cannot take the final test in case the attendance rate is lower than 70%.

成績評価の基準

- S : 単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた (90~100点)
- A : 単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた (80~89点)
- B : 単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた (70~79点)
- C : 単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた (60~69点)
- F : 単位認定基準の学修成果をあげられなかった (~59点)

- S : Very excellent in every points.
- A : Very good in every points.
- B : Good in every points.
- C : Not good in some points.
- F : Not good in most of points

オフィスアワー

授業開始時に指示する

It will be announced at the beginning of the course.

授業改善・工夫

Google Classroomを用いるなどして、学生に自律学習を促すとともに、授業を効率的に進める。

The class is managed effectively by using Google Classroom. Google Classroom is also expected to lead students to autonomous learning.

留意点・注意事項

J-CATでの基準点の到達を受講の目安とする。

Students needs to clear the criterion score on the J-CAT test.

教員の実務経験の有無